

【至峰堂画廊 SHIHODO Gallery】

アートフェア東京 2024 に出展「ごちそう」をテーマにグループ展

会期：2024年3月7日（木）～3月10日（日）

至峰堂画廊（東京都中央区銀座）は、3月7日（木）～3月10日（日）に開催されるアートフェア東京2024に出展いたします。山田啓貴・山本雄教・藤田勇哉・魏嘉・小俣花名の5名の作家を迎え、“ごちそう”をテーマに作品を展覧いたします。

私たちの生活に必要な要素のひとつである“食”は、日々の彩や楽しみを提供しているものでもあります。それはアートを楽しむこととも通じる部分があると考えます。

作家たちが描き出す“ごちそう”を通じて、食とアートに繋がる楽しみや豊かさを味わっていただけますと幸いです。



魏嘉「Untitled」
アクリル・パステル 30F



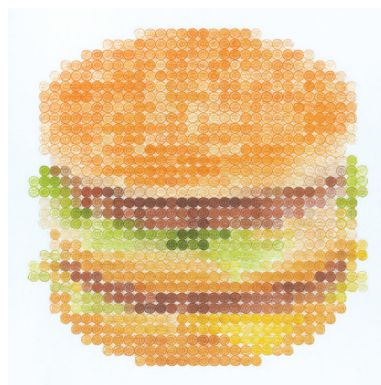
小俣花名「建築家」
中川麻紙・墨 162.0×156.0 cm



藤田勇哉「YF943」
油彩・綿布 4F



山田啓貴「文化の日」
油彩・テンペラ 60.1×65.0cm



山本雄教「870円のビッグマック」
麻紙、色鉛筆、一円硬貨のフロッタージュ 20S

【アートフェア東京 2024 概要】

会期：招待者のみ 3月7日（木）11:00 - 19:00
パブリックビュー 3月8日（金）・9日（土）11:00 - 19:00
3月10日（日）11:00 - 17:00

会場：東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム B2F【ホールE】

入場料：前売4,000円（税込）／当日5,000円（税込）

至峰堂画廊 ブース：【N041】

<お問い合わせ先>

至峰堂画廊 / 広報担当 山岡

MAIL: ginza@shihoudou.co.jp TEL: 03-3572-3756 FAX: 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>
東京都中央区銀座6-4-7 いらか銀座ビル1・2階

作品介绍



山田 啓貴

「文化の日」

油彩・テンペラ

60.1×65.0cm

2022 年作

油絵の初期の形とも言えるルネサンス時代に使われた古典技法で描いています。鶏卵を用いるテンペラの層、油絵具の層と何層も重ねていく技法です。空間感と重厚さが特徴で、一層一層にその想いを込めて描いています。『文化の日』と題したミートコロケは、食品サンプルです。レストランの入り口のショーケースで食品サンプルを見てワクワクする気持ちをテーマにしました。この作品は地元の苫小牧美術博物館とのコラボレーションでもあり、11月3日には家族と街なかの洋食屋でお昼を済ませて美術館で絵を見るという慣例があったもので、そのエピソードから来ています。(山田啓貴)

山田 啓貴 (やまだ けいき)

1978年北海道苫小牧市生まれ。2004年多摩美術大学大学院美術研究科修了。油絵具とテンペラを塗り重ねる古典的な技法で、思い入れのある身近なものを描く。鑑賞者の過去の思い出を呼び覚ます作品は、そっと触れてしまいたくなるような存在感を放つ。

近年のアートフェア東京やアート台北への出品、ロンドン、ベルリンでの展示参加など、国内外で注目と評価を高めている。

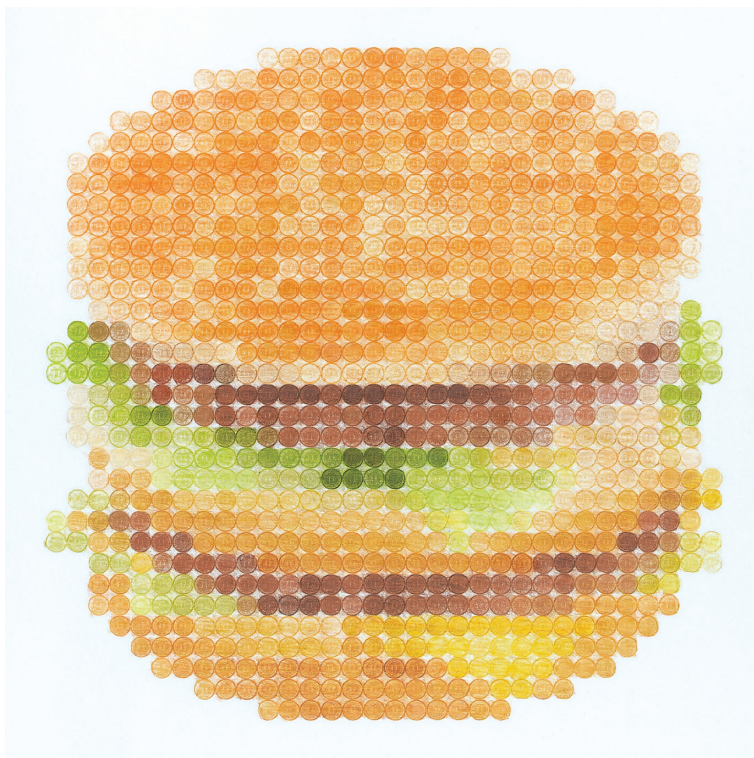
心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>

東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2階



山本 雄教

「870円のビッグマック」

麻紙・色鉛筆・一円硬貨のフロッタージュ

20S

2024 年作

みんなのご馳走。あなたのご馳走。世界のご馳走。最高のご馳走。リッチなご馳走。ヘルシーなご馳走。お得なご馳走。毎日のご馳走。クールなご馳走。可愛いご馳走。お洒落なご馳走。アートなご馳走。ポップなご馳走。ワンコインのご馳走。めくるめくご馳走。楽しいご馳走。思い出のご馳走。沢山のご馳走。果てしないご馳走。止まらないご馳走。やめられないご馳走。Let's POP EAT! どうぞ召し上がれ。

(山本雄教)

山本 雄教 (やまもと ゆうきょう)

1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学大学院修士課程修了。

一円玉や米粒といった身近で些細な存在を用いて、様々な事物を表現してきた山本雄教。「すぐそこにあるものこそが、あらゆるものにつながっている」という作家の世界観のもと、日常的な価値観や現代社会とのつながりを見つめ直す。国内外でのアートフェアやギャラリーで徐々に存在感を示し始め、数々の賞を受ける注目の作家。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>

東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2階

作品介绍



藤田 勇哉

「YF943」

油彩・綿布

4F

2024 年作

私にとってのいちばんの「ごちそう」は、フランス料理です。ワインとチーズの味わい、三つ星レストランへの憧れ、パリで買ってきた缶詰や調味料などをモチーフに、9枚の絵を描きました。美味しくて幸せな時間と空間を感じていただけたら嬉しいです。

(藤田勇哉)

藤田 勇哉 (ふじた ゆうや)

1974年埼玉県生まれ。東京造形大学造形学部美術I類卒業。

果実やヨーロッパの古道具など丁寧な筆運びで描かれるモチーフは斬新な構図で描かれ、独特な世界観を創り出している。近年ではアートフェア東京など、国内外のアートフェアに出品を続けている。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>

東京都中央区銀座6-4-7 いらか銀座ビル1・2階



魏嘉

「Untitled」

アクリル・パステル

30F

2024 年作

魏嘉（ぎか）

1988 年台湾生まれ。2024 年東京藝術大学大学院博士後期課程油画専攻 修了予定。

近年の「真に力がある作品」を生み出す画家の登竜門となっている「FACE」(SOMPO 美術財団)にてグランプリを受賞した期待の作家である。台湾出身の魏が描く作品は、アクリルやパステル、エアブラシなどを用いた柔らかな色合いと余白が織りなす余韻が心地よい。絵画以外にも小説や映画に影響を受けつつ、その世界観を広げていく魏の作品には作家ならではのユニークな「今」が明確に投影されている。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>

東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2 階

作品介绍



小俣 花名

「建築家」

中川麻紙・墨

162.0×156.0cm

2024 年作

ハーブティー、バゲット、チーズ、ワイン、メロン、パリのご馳走
(小俣花名)

小俣 花名 (こまた かな)

1997年東京都生まれ。武蔵野美術大学大学院 造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻 在学中。

小俣は「FACE」展にて優秀賞を受賞。今後のアートを見渡す上で必須と思われる、東アジアのアイデンティティの一つでもある墨を用い、作家の身近な「今」を描き出す。特筆すべきはその造形で、現代を生きる我々にとって極めて身近な漫画的造形を平面鑑賞絵画に昇華できている点である。ごく自然に、身近な「今」をよく観察しよく描き込み、今に生きる我々にとっての身近な漫画的造形で描き出している。

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>
東京都中央区銀座 6-4-7 いらか銀座ビル 1・2 階